

すから、経費が十分に賄えるのです。リーマンショックの時はさすがに配当がなくて大変でしたが、今はすっかり立ち直っています。

災害などがあつた時に寄付金がLCIFに集まります。人件費や事務手続きにかかる費用は現地ライオンズが賄います。ですから寄付金全額を被災地に送ることができるのです。そのためにメンバー増強が必要なわけです。メンバー一人一人が力を出し合つて支援する、これがライオンズスピリットなのです。

実は日本の会員の中にはこういう事情を知らずに「LCIFに寄付してもどのようにお金を使っているかがわからない」と言う人がいて、LCIFを有効に活用しないケースがよく見られますが、年度末には詳細な会計報告が全世界に発信されます。知らないと言う人はそれを読んでいないということです。くり返しますが、世界で最もクリーンな団体はLCIFなのです。

日本人は災害などが起きるとよく寄付をします。その点は私も素晴らしいと思つています。日本のライオンズクラブも災害時に寄付をよく集めますが、こともあろうにLCIFにそのお金を送らずに日本赤十字に寄付したり、役所に持つていきます。役所に寄付金を持つていった場合、その多くは日本赤十字に渡されます。結局、多くの寄付金がライオンズから日本赤十字に届くのです。

日本赤十字は約三〇パーセントの手数料を取つて、被災地にお金を届けています。LCIFなら寄付金全額が被災地に届くのに、日本赤十字を通すと七〇パーセントしか届きません。これは非常

にもつたいない。ですから、私は皆さんにLCIFのことをよく知つて欲しいと願つています。このような無駄なことが起こらないように一般財団法人日本LCIFが立ち上がったのです。

## OSEAL事務所を日本に●

LCIFの中で一番多くお金を集めているのが日本を含む東南アジア(OSEAL)です。その中でも約五十年間にわたり日本がトップを占めていて、その次が韓国、台湾です。ちなみに、ライオンズ発祥の地であるアメリカが集める金額は台湾の次です。

ところで、LCIFの海外拠点の一つがインドのムンバイにあります。なぜインドかというと、ライオンズクラブのメンバー数が多く、LCIFからのお金を一番使っているからだと言われていました。

私は執行役員時代からそれに疑問を抱いていたので、国際会長になって主張しました。

「なぜお金を使うところに事務所があつて、お金をたくさん集めるところに事務所がないのか。OSEALに事務所をつくるべきだ」

この取り組みの発端は、国際理事の時に参加した「国連ライオンズ・デー」での出来事でした。ライオンズは国際連合とパートナーシップを組んでいるため、毎年国連でライオンズの会議を行い